

## 第2部 計画の基本理念と考え方

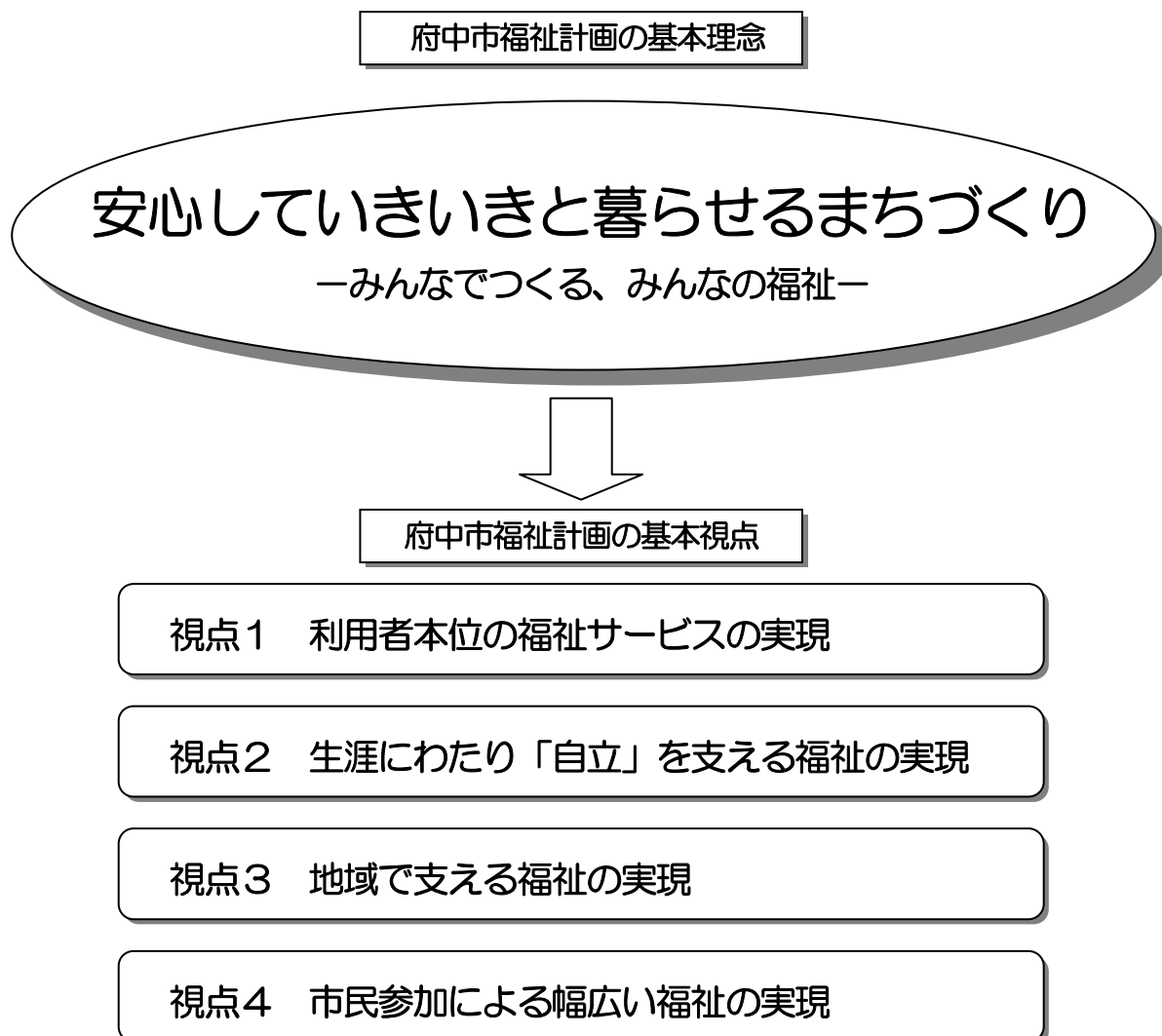


# 1 基本理念・基本視点

「第5次府中市総合計画」では、市民が主体となり、みんなにやさしく、安心して快適に暮らすことができるよう、「人間性の尊重」を基本理念として「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」の実現をめざしています。

「団塊の世代」がすべて65歳以上となる平成27年(2015年)を展望しつつ、地域の人々と行政や福祉関係者が互いに協力し、市民が人として尊重され、生涯にわたり地域で自立していきいきと生活できる豊かな社会を築くことが重要です。

「府中市高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画」は、「府中市福祉計画」の「基本理念」および「基本視点」をふまえた上で、高齢者保健福祉施策と介護保険事業を一体的な視点でとらえた計画とします。



## 2 施策の目標

「高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画」は、基本理念と基本視点をふまえ、以下に示すような施策の目標に沿って進めます。

### 1 利用者本位のサービスの実現のために

- ・ 高齢者が自分に合ったサービスを選択するために、情報の発信や身近な場所で相談できる体制の充実を図るとともに、サービスの質の確保に努めます。
- ・ 高齢者の権利擁護体制の充実を図ります。

### 2 介護予防を進めるために

- ・ 健康で自立した生活を維持できるよう、介護予防を進めます。
- ・ 改正介護保険法に基づく「地域包括支援センター」を整備し、介護予防、包括的支援事業を実施します。

### 3 安心して暮らし続けるために

- ・ 介護が必要になっても、高齢者が尊厳をもって住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの充実を図ります。
- ・ 地域の介護力を高め、家族介護者の心身の負担の軽減を図ります。

### 4 地域で支える福祉をめざして

- ・ 地域包括支援センターと在宅介護支援センターの連携を図り、地域住民の協力も得ながら、地域全体で高齢者を見守るしくみの充実を図ります。

### 5 ともに暮らす地域をめざして

- ・ 元気な高齢者が、豊富な知識と経験を活かし、地域社会の担い手として活躍できる場面を創出します。

### 3 施策の体系

